

能力開発 ご担当者 様

ビジネス課題に関連する  
研修プログラムのご案内



ウィナーズ・アンド・カンパニー株式会社  
経営ソリューション部門 2012.8.31

価値創造ビジネスの開発から「ニューフロンティア」の開拓を実現する

---

## ・ 研修プログラム

コーポレートガバナンス・内部統制、コンプライアンス、リスクマネジメント、CSR等のビジネス課題の関連テーマを中心に、顧客企業の組織力強化・人材育成のニーズに応えられるよう、研修体系・教育計画の策定から研修プログラムの策定、講師派遣、研修後のフォローまでご支援いたします。

研修の進め方は、特定のフレームワークやパターン化された研修ではなく、皆さまの組織や企業に合った事例や演習等を効果的に織りませ、柔軟性ある研修効果を最大限に高めます。

## ・ 人材育成の重要性

激変する経営環境の変化に対応し、本業を充実させるための強化策の計画実施、新規事業の展開など、さまざまなテーマにチャレンジする中でも、ビジネス課題への最適対応を探究する活動は必要不可欠です。

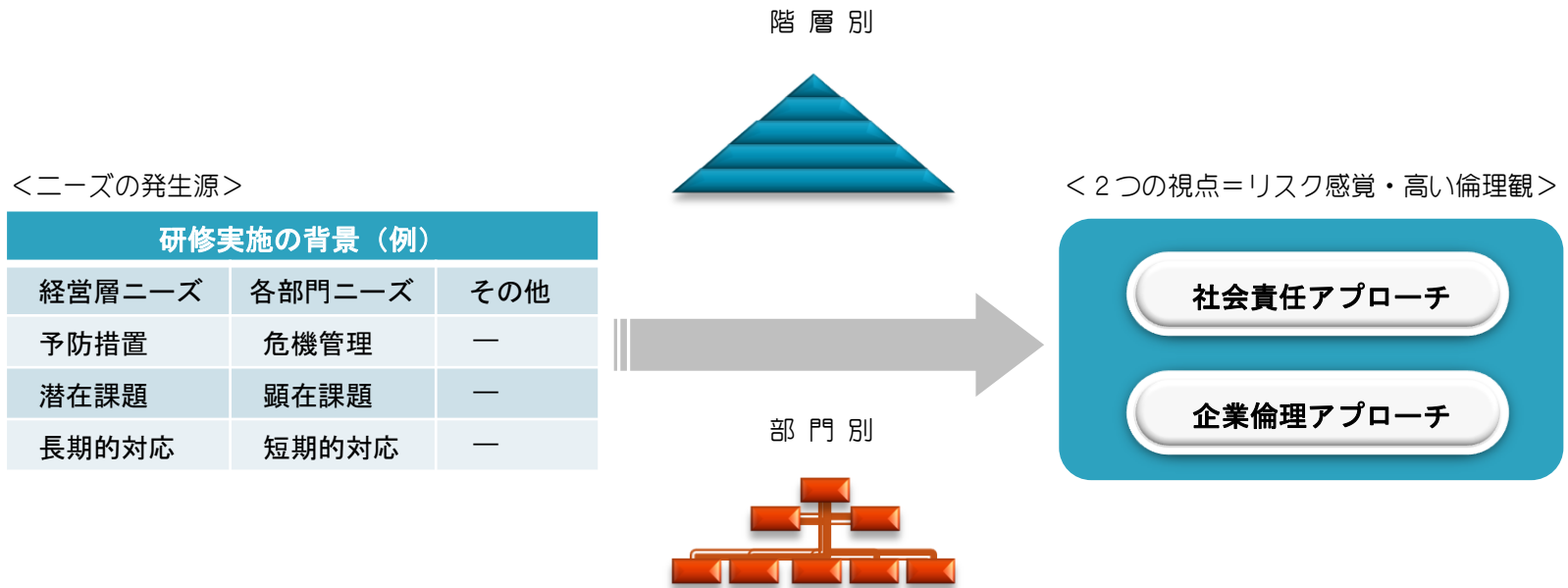
企業は、いま様々なグローバル・リスクに直面しており、必要時のリスク対応力、意思決定力が問われています。組織内教育の徹底・浸透により、リスク感覚、高い倫理観を備えた人材を育成することが重要です。



## ■ 研修プログラムの企画・策定手法

ビジネス課題に関連する研修プログラムの企画・策定では、研修実施の背景（ニーズの発生源）と研修対象者の区分選択（部門別、階層別等）が重要です。

ウィナーズ・アンド・カンパニーでは、研修プログラムの策定過程において「社会責任アプローチ」「企業倫理アプローチ」の何れかの視点から研修ニーズの本質を理解し、研修効果を最大限に高める実施内容を策定、ご提案します。



## ■ 研修プログラムの基本テーマ

基本テーマの抽出は、企業市民としてのリスク感覚を基本とした「社会責任アプローチ」、高い倫理観を基本とした「企業倫理アプローチ」から行います。

企業倫理アプローチ		研修テーマ（例）		
1	コンプライアンス	企業倫理と法務実務	組織コンプライアンス	企業倫理・経営者と従業員…
2	ガバナンス／内部統制	企業倫理と内部統制	企業倫理と内部監査	公認会計士の職業倫理
3	リスク／危機管理	企業不正と規制当局	企業倫理とリスク管理	メディアトレーニング
社会責任アプローチ		研修テーマ（例）		
6	1 説明責任・透明性	・ガバナンス／内部統制 ・リスクマネジメント／危機管理	・監査／三様監査システム ・CSR報告書	
8	2 企業倫理	・組織風土・組織文化 ・企業倫理の教育研修	・倫理プログラム（倫理Code） ・倫理教育啓発ツール	
10	3 ステークホルダー	・ステークホルダーマネジメント ・CSR／SR課題 ・自然環境／生態系保護	・ステークホルダーミーティング ・環境負荷低減とモニタリング	
	4 法令遵守	・コンプライアンスの推進方法 ・談合／カルテルの防止策 ・ITガバナンスと情報セキュリティ	・不祥事情報の開示システム ・腐敗と汚職（贈収賄）の防止策 ・知的財産権マネジメント	
	5 国際行動規範	・SRI・ESG国際動向 ・企業倫理の国際展開 ・ISO26000	・OECD、GRI、GC対応策 ・次世代育成プログラム	
	6 人権尊重	・人権・労働問題 ・ワークライフバランス ・労働安全衛生マネジメント	・ヘルプライン（内部通報者制度） ・メンタルヘルス教育 ・ダイバーシティの醸成	

## ■ アドバイス&コンサルティング対応

組織内の教育・研修実施後、とくに大切なことは、その評価とアフターフォローです。研修後、各部門・各階層のミッション・目標と連動した「アドバイス」や「コンサルティング対応」のご依頼がある場合には、専門コンサルタントが別途ご対応します。

### 各階層（ミッション・目標）

<b>役員・部長クラス</b>
複合的な経営倫理課題に対応していくためには、組織の全体像からリスク課題を抽出。
<b>管理者・マネジャークラス</b>
管理者・マネジャークラスに求められることは問題解決力。現場力の向上は必須。
<b>中堅社員クラス</b>
組織を継続的に発展させるためには、次期管理者として組織をになう人材育成が重要。
<b>新入社員・若手社員</b>
労働環境の変化とともに、組織で働く新人や若手社員の価値観や意識は多様化。
<b>上記以外の対象者</b>
契約社員・臨時社員を除くパートタイマー、派遣社員、アルバイト等、労使関係が伴わない方々には、簡易プログラムをご提供。

研修プログラム  
実施

ミッション・目標等  
関連性確認

### 各部門（ミッション・目標）

<b>企画・管理部門</b>
企画・管理部門では、今後の組織の発展のために不可欠な新たな企画や制度設計が重要。
<b>人事・総務部門</b>
グローバル採用、価値観の多様化に適合する人材マネジメントや支援システムが必要。
<b>営業部門</b>
外部接点を多くもつ営業部門のリスク対応に役立つプログラムをご提供。
<b>サービス部門</b>
サービス提供に関わる全ての人が顧客満足度を向上させるための実践的プログラム。
<b>研究開発部門</b>
研究開発部門の役割は、組織の将来を大きく左右します。新技術・新商品に潜むリスク課題や知的財産の侵害防止策のプログラムをご提供。

## ■ お問い合わせ

ウィナーズ・アンド・カンパニーでは、①コーポレートガバナンス、内部統制、コンプライアンス、リスクマネジメント、企業倫理、CSR等のコンサルティング ②組織内研修・教育プログラムの企画立案 ③CSRレポート、サステナブルレポート等の企画・出版・広報などについての業務委託、相談助言を行っています。単独プロジェクト、年間計画、数年次プランなど、短期・中期計画に合わせて対応します。

ウィナーズ・アンド・カンパニー株式会社

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿1-15-4 Maison115 3F

TEL:03-5475-6568 FAX:03-5475-6569

URL: <http://www.winners-co.jp>

E-MAIL: [info@winners-co.jp](mailto:info@winners-co.jp)

経営ソリューション部門：土屋、池田

